

AGREE II 評価表(項目別平均値)

(公財)日本医療機能評価機構
EBM医療情報部
2022年8月24日

ガイドライン名: 成人・小児進行固形がんにおける臓器横断的ゲノム診療のガイドライン 第3版 2022年2月

作成団体名: 日本臨床腫瘍学会、日本癌治療学会、日本小児血液・がん学会

取扱注意

領域	領域説明文	項目	項目別平均値 (1-7)
1 対象と目的 (Scope and Purpose)	この領域では、診療ガイドライン全体の目的や取り扱う健康上の課題、想定される対象集団の記載について評価しています。より良い診療ガイドラインの要件として、右記の項目1-3について詳細かつ明瞭な記載が求められます。	1 ガイドライン全体の目的が具体的に記載されている。	5.75
		2 ガイドラインが取り扱う健康上の問題が具体的に記載されている。	4.25
		3 ガイドラインの適用が想定される対象集団(患者、一般市民など)が具体的に記載されている。	4.5
2 利害関係者の参加 (Stakeholder Involvement)	この領域では、診療ガイドラインが適切な利害関係者によって作成されているか、想定される適用対象者の視点を考慮して作成されているかに焦点を当てて評価しています。より良い診療ガイドラインの要件として、右記の項目4-6について詳細かつ明瞭な記載が求められます。	4 ガイドライン作成グループには、関係する全ての専門家グループの代表者が加わっている。	5
		5 対象集団(患者、一般市民など)の価値観や希望が調べられた。	1
		6 ガイドラインの利用者が明確に定義されている。	4.75
3 作成の厳密さ (Rigour of Development)	この領域では、診療ガイドラインの作成方法の記載について評価しています。より良い診療ガイドラインの要件として、右記の項目7-14について詳細かつ明瞭な記載が求められます。	7 エビデンスを検索するために系統的な方法が用いられている。	5.5
		8 エビデンスの選択基準が明確に記載されている。	2.5
		9 エビデンス総体(body of evidence)の強固さと限界が明確に記載されている。	3
		10 推奨を作成する方法が明確に記載されている。	4.75
		11 推奨の作成にあたって、健康上の利益、副作用、リスクが考慮されている。	4.5
		12 推奨とそれを支持するエビデンスとの対応関係が明確である。	4.25
		13 ガイドラインの公表に先立って、専門家による外部評価がなされている。	3.5
14 ガイドラインの改訂手続きが示されている。	3.25		
4 提示の明確さ (Clarity of Presentation)	この領域では、診療ガイドラインで推奨する内容が明確に提示されているかどうか評価しています。より良い診療ガイドラインの要件として、右記の項目15-17について詳細かつ明瞭な記載が求められます。	15 推奨が具体的であり、曖昧でない。	5
		16 患者の状態や健康上の問題に応じて、異なる選択肢が明確に示されている。	4.25
		17 重要な推奨が容易に見つけられる。	5
5 適用可能性 (Applicability)	この領域では、診療ガイドラインの利用を促すための戦略や資源に関する情報の記載について評価しています。より良い診療ガイドラインの要件として、右記の項目18-21について詳細かつ明瞭な記載が求められます。	18 ガイドラインの適用にあたっての促進要因と阻害要因が記載されている。	4.25
		19 どのように推奨を適用するかについての助言・ツールを提供している。	4.25
		20 推奨の適用に対する、潜在的な資源の影響が考慮されている。	4
		21 ガイドラインにモニタリングや監査のための基準が示されている。	2.5
6 編集の独立性 (Editorial Independence)	この領域では、診療ガイドライン作成のための資金源や利益相反の開示について評価しています。より良い診療ガイドラインの要件として、右記の項目22-23について詳細かつ明瞭な記載が求められます。	22 資金提供者の見解が、ガイドラインの内容に影響していない。	3.75
		23 ガイドライン作成グループメンバーの利益相反が記録され、適切な対応がなされている。	4